新小山市民病院ニュースレター

Shin-Oyama City Hospital News letter　Vol.54



目次					
1	副院長挨拶	2	新館建設事業	3	決算報告
4	新輪番体制	5	公開講座	6	お知らせ

副院長就任のごあいさつ

副院長・小児科部長　野崎　靖之

2026 年 7 月 1 日に副院長兼小児科部長を拝命しました 野崎 靖之（のざき やすゆき）です。どうぞよろしくお願い申し上げます。



私は埼玉県大宮市（現在のさいたま市）出身で、1990 年 3 月に鳥取大学卒業後に自治医科大学小児科、栃木県立身体障害医療福祉センター（現リハビリテーションセンター）等に勤務し、2013 年 4 月から当院小児科に赴任し、2014 年から小児科部長を務めています。小児科医としては子どもの成長発達の他、小児神経、臨床遺伝を専門にしています。

さて、当院には 6 名の副院長が任命されており、それぞれが重要な役割を担っています。そのなかで私が頂いた課題は『業務効率化』です。いまや人手不足により人材の獲得競争は、奨学金の貸与などを通じた、医療・福祉志望者の「囲い込み」にまで波及しています。従って病院における業務効率化は、採用力強化や経営基盤の安定化にも直結する深刻な課題であるといえます。この病院における業務効率化の具体的目標は、職員の超過勤務時間を削減することにあります。それには業務の見直しはもちろん、ICT(情報通信技術)、AI(人工知能)やロボットといった 3 つの革新技術を利用したタスクシフト・シェアが鍵となります。

しかし医療・福祉の分野は他の産業分野に比較して、3 つの革新技術による業務効率化が遅れているといわれています。私は医療・福祉の分野には 3 つの革新技術に親和性がある領域と、そうでない領域があると考えています。そして後者の領域の特徴は、ひとことでいえば「人と人とのつながり」を求められる業務です。自分が病気になって医療・福祉サービスを受ける立場になった時を考えてみてください。

これら 3 つの革新技術に支えられた"信頼"できるチームから、"人と人とのつながり"を感じながらサービスを受けたいと思うのではないでしょうか。



私はこのような医療・福祉の特性を考慮しながら、進化する技術を取り入れて、病院における業務効率化を進めていきたいと考えています。

令和８年度小山市近郊地域医療連携協議会（１５病院協議会）・医師部会を開催いたしました

令和８年７月１日（水）に、小山市内において、小山・下野・野木・上三川・結城の３市２町の病院で構成する本協議会の医師部会を開催しました。

部会では、１３名の錚々たる病院長が集まり、事務局（塚原医療連携室長）による事業報告、会員病院を代表して星野病院星野理事長よりご挨拶、新小山市民病院佐田病院長より「新館建設事業・新たな救急医療提供体制」と題した展望、救急車の選定療養費に関する活発な意見交換と続きました。

第二部として、光南病院須田理事長の乾杯のご発声により懇親会へと移行し、各病院長のウィットに富む近況報告が続き、宮脇医師部会長（新小山市民病院）の中締めの挨拶までの間、時間の許す限り、現在と将来の地域医療連携について語らい、より強固な連帯を育まれました。

このように、病診連携もさることながら、病病連携の発展に寄与する活動を行っておりますことを、ご報告いたします。







「地域サービス推進室長着任の御挨拶」

患者支援センター 地域サービス推進室長　　本田 晶紀（ほんだ まさとし）



地域連携医療機関の先生方・スタッフの皆様、初めてお目にかかります。本田晶紀と申します。

令和８年４月１日より、総務課総務係長兼内部統制監査室副室長から異動してまいりまして、連携医療機関との関係構築と向上（ときにお詫びも）の役目を担当させて頂いております。

まだ駆け出しの身であり、先達の先輩方が遺された足跡を踏襲するのに精一杯ではありますが、事務方として病院の裏舞台で長く活動してきた経験を活かして、少しでも早く、連携医療機関の皆様に認知され、ご信頼を得られるよう、精進してまいります。

なお、些末なパーソナルデータですが、昭和５３年生まれ。旭小学校卒・小山城南中卒・小山高校卒・日本競輪学校卒。約１０年ほど公営レースの業界に身を投じたのち、２０１２年に小山市役所に入庁。最初の配属先が市民病院。翌年の地方独立行政法人への移行を機に市民病院に転籍し、現在に至ります。趣味は歴史研究を少々。好きな女性のタイプは妻です（←書けと言われた）。どうぞよろしくお願いいたします。



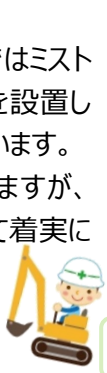
新館建設事業に着手しています！⑤



令和８年６月に建物の鉄骨が組まれ、いよいよ新館の全貌が見えてきました。８月から屋根・外壁工事を進め、続けて内装工事に入ります。

今年も猛暑日が続き、現場ではミスト付の扇風機や冷水器・製氷機を設置して、万全な熱中症対策を行っています。

中東情勢の影響が心配されますが、令和９年４月のオープンに向けて着実に工事を進めて参りますので、引き続き皆さまのご理解ご協力をお願いいたします。





令和８年６月中旬 鉄骨建方状況



令和８年７月中旬 全体進捗状況

---------- 令和 7 年度決算について ----------

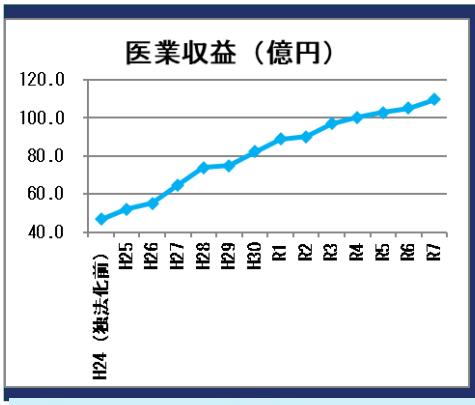
～ 昨年度の赤字から、1 年で黒字を回復しました！ ～

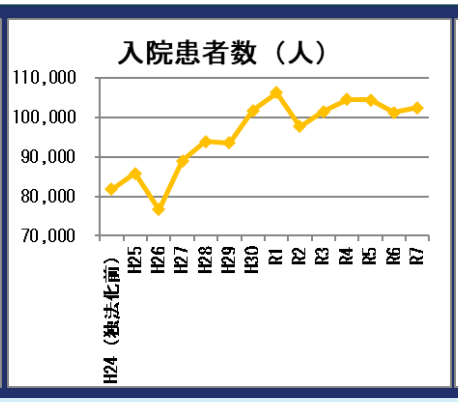
地域の皆さまに質の高い医療を将来に亘りお届けするためには、黒字経営による確固たる経営基盤の維持・強化が不可欠という認識のもと、地独法化以降初の赤字となった令和 6 年度決算からのＶ字回復を図るべく職員一丸となり邁進した結果、令和 7 年度は約 2,300 万円の黒字を確保し、「赤字は続けない」という目標を何とか達成することができました。もとよりこの結果は、地域医療機関の皆さま方の多大なるご協力なくしては成し得なかったことであり、職員一同、心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

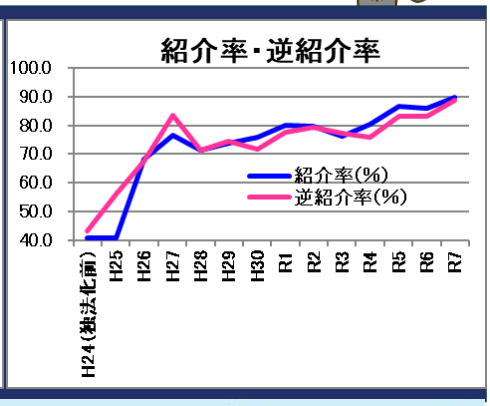
物価高騰や労働力不足など、医療機関を取り巻く経営環境は依然厳しい中ではありますが、既に皆さまご承知の通り、現在当院では来年 4 月のオープンに向け新館の準備を着々と進めています。新館稼働により手術室や外来診察ブースの増設、手術支援ロボット DaVinci の導入、歯科口腔外科の新設など、地域中核病院として欠かすことのできない機能拡充を図ります。

これからも地域の皆さま・医療機関の方々から信頼され、必要とされる持続可能な地域中核病院として尽力して参りますので、引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。









新小山市民病院

ふれあい祭りについて



開催予定 2 月 または 3 月

開　催　予　定

本年度の「新小山市民病院ふれあい祭り」は、新館完成後の令和９年２月または３月の開催を予定しております。
開催日や内容などの詳細につきましては、決定次第、病院ホームページ等でご案内いたします。

～ 10 月から夜間・休日の救急医療体制が変わります ～

令和 8 年 10 月 1 日から、小山市の夜間・休日における救急医療体制が変更となります。

【22 時までに受診が必要な場合】

診療時間外に受診が必要となった場合は、「夜間休日急患診療所」または「一次救急当番医」での受診をご案内ください。

※診療時間や当番医療機関については、小山市ホームページなどでご確認いただけます。

【受診するか迷ったときは】

急な病気やけがで、「すぐに受診した方がよいか」「救急車を呼んだ方がよいか」など、判断に迷う場合には、24 時間利用できる「とちまる救急安心電話相談」をご案内ください。

●子ども（概ね 15 歳未満）

＃8000　または　028-623-3511

●大人（概ね 15 歳以上）

＃7119　または　028-623-3344

看護師などが症状を確認し、救急車の利用や医療機関の受診についてアドバイスします。

【こんなときは迷わず 119 番！】

意識がない、呼吸が苦しい、突然の激しい胸痛など、緊急性が高い場合は、ためらわず 119 番へ通報するようご案内ください。

※　限られた救急医療体制の中で、緊急性の高い患者さんに必要な医療を届けるため、先生方におかれましても、新たな救急医療体制についてご承知おきいただき、患者さんへのご案内等にご協力くださいますようお願いいたします。

～ 心不全再入院予防継続管理料の施設基準届出について（ご案内） ～

令和 8 年度診療報酬改定において新設された「心不全再入院予防継続管理料 1 及び 2」の施設基準を届け出ましたので、ご報告申し上げます。

心不全で入院された患者さんに対し、医師・看護師・薬剤師・管理栄養士・理学療法士等による多職種の包括的な支援を行うとともに、退院後は地域の先生方と連携しながら、切れ目のない心不全診療の推進に努めてまいります。

病状が安定した患者さんにつきましては、地域の先生方へ積極的に逆紹介させていただきたく存じますので、ご高診の程よろしくお願い申し上げます。

なお、「心不全再入院予防継続管理料 3 」の施設基準においては、管理料 1 及び 2 の届出医療機関が主催する研修会への参加が要件の一つとなっております。

当院では、会員の先生方を対象とした研修会を年 1 回以上開催する予定でございます。開催日時等の詳細につきましては、決定次第、改めてご案内申し上げます。

地域全体で心不全患者さんを支える医療体制の充実に向け、今後とも先生方との連携を大切にしながら取り組んでまいる所存でございます。





地域の先生方につきましても、格別のご配慮を賜りますようお願い申し上げますとともに、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

第5回　新小山市民病院 予防医学センター　市民公開講座　開催のおしらせ

テーマ

『未来へ拓く予防医療』

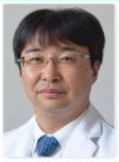
― データとデジタルヘルスで目指す生活習慣病改善と高血圧重症化予防のまちづくり ―

日 時　令和8年11月1日(日)　開場 13:00 ／ 閉会 16:40

会 場　健康の森さくら（小山市健康医療介護総合支援センター）
小山市神鳥谷2251-7

入場無料・申込不要
どなたでもご参加いただけます

ご登壇者

病院長	座 長	講演1	講演2	講演3
				
佐田 尚宏 先生	**島田 和幸 先生**	**苅尾 七臣 先生**	**中野 真宏 先生**	**野尻 哲也 氏**
新小山市民病院 病院長	新小山市民病院 名誉院長	自治医科大学 循環器内科学教授　日本高血圧学会理事長	予防医学センター長	（株）おいしい健康 CEO

プログラム

13:00	開場
開会挨拶	新小山市民病院 病院長　佐田 尚宏 先生
講演1	苅尾 七臣 先生（自治医科大学 循環器内科学教授・日本高血圧学会理事長）
来賓挨拶	小山市長　浅野 正富 様
講演2	中野 真宏 先生（予防医学センター長）
講演3	野尻 哲也 氏（（株）おいしい健康 CEO）
講演4	牧田　恭子 先生（小山市 国保年金課　管理栄養士）
討論	質疑応答・演者総合討論
16:40	閉会

講演内容

講演1【メイン】　苅尾 七臣 教授（自治医科大学）
「血圧を知れば、未来の健康が変わる」

講演2　中野 真宏 先生（予防医学センター長）
小山市の10年データから見える「ナトカリ比」

講演3　野尻 哲也 氏（（株）おいしい健康 CEO）
AI献立アプリで、たのしく便利に高血圧対策

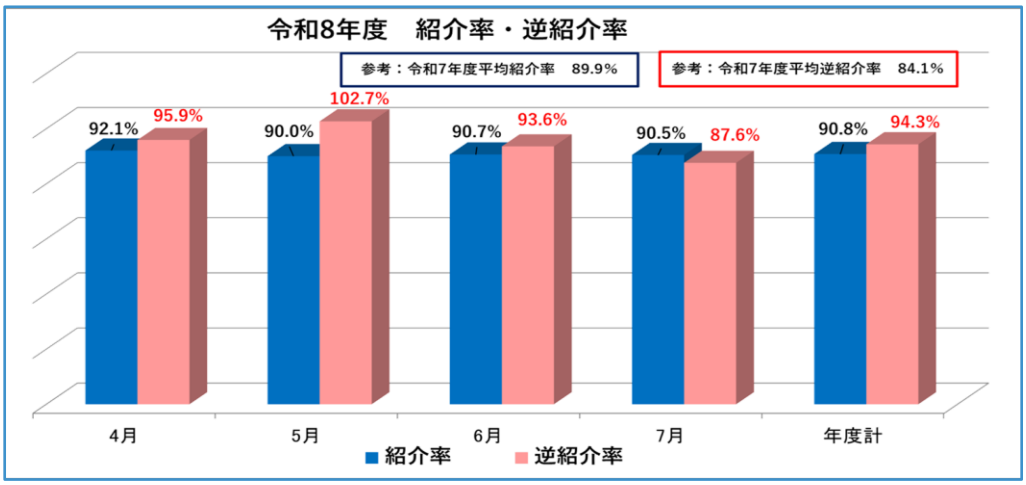
講演4　牧田 恭子 先生（小山市 国保年金課　管理栄養士）
高血圧重症化予防のまちづくりの活動

お問い合わせ
新小山市民病院 予防医学センター
メール：info.dock@hospital.oyama.tochigi.jp（担当：篠原・長澤）

会場アクセス　お問い合わせ

主催：新小山市民病院予防医学センター　／　後援：小山市、小山地区医師会、小山歯科医師会、小山商工会議所、（株）板橋組

患者支援センターからのお知らせ



いつも当院運営にご理解、ご協力いただきありがとうございます。

令和８年４月～7月は、前年度比で紹介患者数９ 人増でした。引き続きよろしくお願いいたします。



第 61 回　地域完結型医療･連携の会　WEB ライブセミナー

地域完結型医療・連携の会ハイブリッドセミナーにご参加いただきありがとうございます。地域完結型医療・連携の会では、紹介患者さんの症例報告・検討を通じて、診療情報や当該疾患の診断治療法を紹介し、情報交換の機会となっています。昨年度から「地域完結型医療・連携の会の録画配信」を開始しました。配信視聴をご希望の方は、医療連携室へ電話（0285-36-0252）もしくはメール（renkei@hospital.oyama.tochigi.jp）へご連絡よろしくお願いいたします。今後も皆様により満足いただけるセミナーになるよう努めてまいります。

次回「第 62 回」は、9/10(木)に開催します。皆様のご参加をお待ちしております。

・日時　7月９日(木)　19:15～
・座長　栗原副院長
・症例報告者、症例
　外科　　藤原医師　　巨大脾海綿状血管腫の１切除例
　耳鼻咽喉科　五十嵐医師　慢性めまいと PPPD 症例から考える地域めまい診療
　呼吸器外科　山本医師　　呼吸器外科領域:肺がん
・参加者　41 名(院外 14 名、院内 27 名)







	日　程	症 例 報 告
第 62 回	令和８年　９月 10 日（木）	脳神経内科・糖尿病代謝内科・泌尿器科
第 63 回	令和８年 11 月 12 日（木）	脳神経外科・心臓血管外科・眼科
第 64 回	令和９年　１月 14 日（木）	循環器内科・呼吸器内科・腎臓内科
第 65 回	令和９年　３月 11 日（木）	消化器内科・産婦人科・小児科

ポットラックカンファレンス
偶数月、第１火曜日
19:15～　ｵﾝﾗｲﾝ(Zoom)にて開催しています。
10/6, 12/1, 2/2

地方独立行政法人　新小山市民病院
〒323-0827
栃木県小山市大字神鳥谷 2251 番地 1
☎　0285-36-0200（代表）
URL　https://tochigi.hospital-shinoyama.jp/
職員採用サイト https://recruit.soch.jp/#works

YouTube　Face book　Insta gram　LINE

患者支援センター（受付時間 平日 8：30～17：15）　ＦＡＸ：０２８５－３６－０３５２
医療連携室：０２８５－３６－０２５２（緊急の患者紹介・転入相談・その他地域連携に関すること）
予約専用ダイヤル：０２８５－３６－０２５４
（予約紹介患者（泌尿器科・消化器内科・耳鼻咽喉科は除く）・もの忘れ外来の受診予約、上部内視鏡・超音波の検査予約）
※ 紹介患者さんからのご予約は、火・水・木曜日の 午後 2:00～4:30 に受け付けております。
医療相談室：０２８５－３６－０２５６
（医療相談・退院調整に関すること・MSW に連絡・その他、外来患者の各種相談に関すること）
メール：renkei@hospital.oyama.tochigi.jp　※メールでも受付しております。